



プロジェクトについて

公益財団法人世界自然保護基金ジャパンと株式会社カスミは、2002年より環境活動・環境教育の一環として自然体験エコツアーを実施しています。第18回目の今年も小学校4～6年生を対象として「大切にしたい!自然と生き物」をテーマに作文を募集し、31通のご応募からネイチャーキッズ賞受賞8名を特派員として、とうほく南三陸へ派遣しました。(延べ3368通の応募作文・168名派遣)舞台となる南三陸町は、高い山々と広い海に囲まれ、リアス式海岸や分水嶺などの特徴的な地形が有名な町です。

東日本大震災から8年、被災したこの地域では、自然環境の保全と、持続可能な社会づくりを通じた復興をめざし、様々な活動が行われています。「自然の恵みと人の暮らしのつながり」をテーマとして、多様な生物の生きる南三陸の海と、その海によって成り立っている水産業、そして、そこで生活している人々の暮らしについて学びました。

4日間のツアーの中では、シュノーケリング観察会やカヤック体験、また森の探検などを行いました。そこで学んだこと、感じたことなどを子どもたちが「手作り壁新聞」にまとめたので、ネイチャーキッズ賞の「作文」とともにご紹介いたします。

第18回 ネイチャーキッズ賞入賞者

 石川 倫 さいたま市立大砂小学校 4年	 今泉 和夏 つくば市立竹園東小学校 4年	 飯田 陽路 つくば市立桜学園南小学校 5年	 齋藤 悠一郎 茨城大学教育学部附属小学校 5年
 田口 美愛 船橋市立高根台第三小学校 5年	 海老根 拓斗 茨城大学教育学部附属小学校 6年	 佐々木 愛華 牛久市立向台小学校 6年	 西本 誠歩 つくば市立松代小学校 6年

ネイチャーキッズ賞作文・探検隊員手作り壁新聞 4面～11面
作文・体験記録集はカスミのホームページでもご覧いただけます。http://www.kasumi.co.jp/

- #### WWF 奨励賞入賞者
- 松本 侖 みのり市立笠原小学校 4年 「守りたい魚や生き物」
 - 鈴木 菜月 つくば市立喜喜小学校 4年 「聞けば体験で気づいたこと」
 - 鈴木 裕翔 ひたちなか市立長郷小学校 4年 「魚のすみかのために」
 - 佐々木 祐善 牛久市立向台小学校 4年 「大切にしたい自然と生き物」
 - 青木 翔夢 日立市立河原小学校 5年 「大切にしたい自然と生き物」
 - 齋持 わかな つくば市立園の森義務教育学校 5年 「川遊びの思い出」
 - 石田 純葉 つくば市立谷田小学校 6年 「ナガミナゲンから学んだこと」
 - 長瀬 一樹 常陸太田市立太田小学校 6年 「サメから考えたこと」
 - 高橋 秀斗 つくば市立春日園義務教育学校 6年 「スズメのいる自然を守っていくために」
 - 秋葉 律典 常総市立玉小学校 6年 「地える絶滅危惧種」
 - 海老根 理味 茨城大学教育学部附属小学校 4年 「ありがた、お湯の板」
 - 大槻 友輝 さいたま市立大砂小学校 4年 「守りたい魚や生き物」
 - 松本 唯唯 ひたちなか市立長郷小学校 4年 「かきあるもの」
 - 小川 晋 杉野山立杉野第二小学校 4年 「みんなで守ろう地球の森」
 - 椎名 いづき 市川市立南木小学校 4年 「自然と生き物の大切さ」
 - 沼田 莉奈 つくば市立東原小学校 5年 「おれいちゃんの本」
 - 杉山 たまき 常陸那珂郡常陸那珂町立常陸那珂小学校 5年 「大切にしたい、アマミノクロウサギ」
 - 深谷 虹夏 桜川市立大田小学校 5年 「大切にしたい自然と生き物」
 - 山下 未希 東京都練馬区立光が丘小学校 5年 「守りたい自然と生き物」
 - 大槻 友海 東村山市立八坂小学校 5年 「きれいな自然を守りたい」
 - 荒井 千夜 龍ヶ崎市立八坂小学校 6年 「耳をかきながら」
 - 大越 公太郎 聖籠町立山田小学校 6年 「しんからのアレセント」
 - 斎藤 然 荒川市立久保小学校 6年 「守りたい、大切な自然」

ネイチャーキッズ 特派員 概要

作文募集 4/1～5/20

7/6 任命式 (説明会)

ネイチャーキッズ賞の8名に探検隊としての任命証を渡しました。

ツアー実施 7/23～26 探検隊プログラム

7/23 町を知る
東京駅を出発し、南三陸へ。海のビジターセンターでお話を聞きました。

7/24 森にふれる
森の中を散策しました。

7/25～26 海と共に生きる力を育む
シュノーケリングとカヤックを体験しました。

キャンプ場周辺の散策をしました。

8/24 体験のまとめ報告会

ツアーから戻ると体験の記録や感想を手作り壁新聞にまとめ報告会を開いて内容をそれぞれに発表し、体験を振り返りました。

多様な生物の生きる南三陸の海と 人々の暮らしについて学んだ3泊4日のエコツアー

南三陸町の海は、寒流(親潮)と暖流(黒潮)がちょうど混ざり合う穏やかな湾で、カキ・ホタテ・ワカメの養殖が盛んな漁場です。山と海も非常に近く、シュノーケリングやカヤックによる海の観察と、地元食材を味わうことで「食」と「自然」のつながりを学びました。

海を感じる

海の中の生き物や植物を観察する

「シュノーケリング観察会&カヤック体験」



南三陸の宝物の海。海に入って海藻や生物を観察したり、水面に座るかのような目線で乗るカヤックのレクチャーを受けて、ハンドリングしました。

埠頭で釣りをしました。エサをつけるのにひと苦労。

自然を守る気持ちを育むために海岸のグリーン活動をしました。

海と共に生きる力を育む

「神割崎キャンプ場キャンプとBBQ」



キャンプ場では自分たちでテントをたてるところからはじまりました。

夜は火を囲んで一日の振り返りを

薪に火をつけるのは、マッチを使うところから苦労しました。

飯ごうでご飯を炊き、みんなで協力して3種類のカレー作りをしました。とても美味しくできました。

きれいな星空をみて、眠りにつきます。

町を知る

震災後の南三陸町を巡り自然の大きさを知る

「町の散策」



森にふれる

森と海の深いかかわりを知る

「森のトレイル」



田東山(たつがねさん)は古くから山岳信仰の霊山として人々の信仰を集めてきました。

神行堂山麓の杉林の奥深くに横たわる巨石も訪ねました。大自然が削った不思議な造形です。人々は代々巨石を神のよりどころとして、崇めてきました。昔、子供達の成長の証として、この巨石の裂け目をくぐりぬける儀式をしたそうです。

お世話になったみなさん
4日間ありがとうございました

みなさんお元気ですか?オーブです!南三陸から帰っての心機はいかですか。お友だちやご家族のみなさんに南三陸のことを話してあげたいです。南三陸で経験したことに初めのことばかりだったとありますが、みんなの普段暮らししているところにもまだまだ知らないことがたくさんあると思います。なぜかここに居るの、木はなぜか植えたのでした。自然や歴史について調べてほしい。自然や歴史の魅力を伝えてほしいです。またおそばを食べてほしいです。お待ちしています。

NPO法人海の自然史研究所 海のビジターセンタースタッフ 海山 友美子さん(オーブ)

発行によせて

WWF ジャパン 事務局長 筒井 隆司

WWF ジャパン 取締役会長 小濱 裕正

WWF ジャパン 事務局長 筒井 隆司

WWF ジャパン 取締役会長 小濱 裕正

WWF ジャパン 事務局長 筒井 隆司

WWF ジャパン 取締役会長 小濱 裕正